

平成 30 年度 第 2 回農福連携推進研修会開催要領

(岐阜県委託事業)

- 1 趣 旨 近年、障がい者就労支援施設等の福祉事業所においては、主として福祉サービスや工賃等の向上を目的として既に農業に取り組んでいる、あるいは取り組む意向があるなど農業に対する関心が高まっています。
県内においても、農業に参入し、厳しい環境を克服しながら農産物の品質の向上や販売力の向上に努めている福祉事業所や地域の立地条件を活かし6次産業化に取り組んでいる福祉事業所も現れています。
そこで、今回の研修では、福祉事業所が農業に参入するにあたって必要な心構え等を研修するとともに、障がいのある方が農業の分野で果たすことができる潜在的な力や実践事例を紹介し、福祉事業所が農業に参入する取組みを推進します。
- 2 主 催 岐阜県
一般社団法人岐阜県農畜産公社(ぎふアグリチャレンジ支援センター)
- 3 期 日 平成 31 年 2 月 1 日(金) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
- 4 会 場 岐阜産業会館 5 階第一会議室
〒500-8358 岐阜市六条南 2 丁目 11-1
- 5 研修内容 ① 講 演：「農業参入に関する留意事項」
田中 長柔 氏 (一社)岐阜県農畜産公社 経営支援課長
② 講 演：「福祉事業所と農業」(仮題)
大場 伸哉 氏 岐阜大学応用生物科学部教授
③ 事例紹介とパネルディスカッション
・コーディネーター
大場 伸哉 氏 岐阜大学応用生物科学部教授
・事例紹介及びパネリスト
寺倉 誠 氏 株式会社アグリピア 代表取締役
※ 水耕栽培で小松菜を中心にレタス、ワサビ菜など数十種類の葉物野菜を栽培。ハウス内は2S(整理整頓)を徹底し、利用者は生き生きと農作業に従事。

野田 美鈴 氏 社会福祉法人ぶなの木福社会 理事長

※ 農村の立地を活かし農作物の生産と6次産業化に取り組むとともに、農家と連携して規格外野菜の活用にも取り組んでいる。

- 6 参加者 障害者就労施設等の役職員、特別支援学校の教職員
行政関係者、その他農福連携に関心のある団体の役職員など
- 7 募集人数 50名程度(先着順)
- 8 申込方法 別紙申込用紙に必要事項を記入の上、平成31年1月24日(木)までに(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室へFAX(058-276-1268)でお申し込みください。

(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室 (ぎふアグリチャレンジ支援センター)			
担当室長	西村	担当	谷口
T E L	058-215-1503		
F A X	058-276-1268		
E-mail	gifu-noufuku2@gifu-notiku.com		

※ 岐阜産業会館位置図



【交通のご案内】

◇公共交通機関ご利用の場合

- 岐阜バス：JR 岐阜(ターミナル内)及び名鉄岐阜(新岐阜)乗り場より、「県庁」・「OKB ふれあい会館」行きに乗車、「産業会館前」下車

<別紙>

2月1日(金)13:30 『第2回農福連携推進研修会』 申込用紙

FAX058-276-1268

(番号に間違いがないようご確認ください)

事務局：(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室

TEL：058-215-1503 担当：西村、谷口

所 属			
住 所			
電話番号		FAX	
参加者名	(フリガナ) 参加者①		
	(フリガナ) 参加者②		
	(フリガナ) 参加者③		
	(フリガナ) 参加者④		

※ 主催者から参加受付の連絡は行いません。定員超過で、参加をお断りする場合にのみ
ご連絡させていただきます。